

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年6月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	349270095		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	小規模多機能ホーム宮内温泉湯治の館ひまわり		
所在地	広島県廿日市市宮内字佐原田4215番地の1 (電話) 0829306072		
自己評価作成日	平成23年6月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3492700095&amp;SCD=730">http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3492700095&amp;SCD=730</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年9月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームとの複合施設の為、1ヶ月に1度合同で行事を行い、他の利用者様との交流を図っています。また、温泉の成分が含まれているお風呂に一人ひとりゆったりとくつろいで入って頂いています。ご利用について泊まりが必要な時や通いの追加利用の要望があった時には迅速に対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、法人本部の理念の下に、事業所心得「居場所をつくり笑いの中で生活しましょう」を全職員が理解・共有し日々取り組んでいる。職員研修も本部・各事業所一体で取られ、全職員の資質の向上に努められている。医療系グループの利点を生かし、利用者の健康管理、特に定期的受診と服薬管理を徹底して行っている。また、利用者一人ひとりのADLの維持を図るためのプログラム(笑い・楽しく・活性化を図る)に沿って、個別支援を行い、入浴も利用者一人ひとりの希望に沿ってゆっくりと入っていただく等、職員とのふれあいの場ともなっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	医療法人の理念を月2回の朝礼時に唱和している。小規模多機能の理念はない。	法人理念を全職員が理解し共有している。また、事業所心得「居場所をつくり笑いの中で生活しましょう」を職員全員で確認・共有し日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の様々なボランティアの方に来ていただく事により社会的交流を図っている。	ホームの夏祭りや敬老会、おたのしみ会など年間行事へのボランティアの参加・参画を積極的に進める等、地域の一員として日々交流に努力されている。同一建物内にあるグループホームと合同で開催する行事も数多くあり、入居者や幅広い地域ボランティアとの交流が行なわれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在なし		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議において出た意見を参考に外出の取組みを増やす等している。	家族や行政からの出席もあり、2カ月に1回定期的に開催されているが、家族の出席が少なく固定しており、会議の内容は報告事項が中心で、やや形式的な会議となっている。出た意見は全職員で話し合い、サービス向上に活かしている。	運営推進会議の意義、(家族が主役であり本音の要望や悩み等を出して頂きサービスの向上に活かしていく場)を家族に理解して頂き、運営推進会議への参加を呼びかけてほしい。また、地域住民の代表等にも参加の呼びかけを行うことによる、活発な討議と情報交換がなされる運営推進会議の開催を期待します。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	月1回は、市役所高齢介護課の窓口に向い、職員と情報交換を行っている。	日頃から市担当者との連絡を密にし、協力関係を築いている。また、地域には、小規模多機能ホーム連絡協議会があり、月1回持ち回りで会議や研修会を開催する等、市も含めた協力関係が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は感知センサーにて出入りを確認している。施錠はしていない。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、法人の医療現場の看護部長を講師に研修を行い、職員全員が正しく理解し共有している。玄関の施錠はせず、また、介護度5の利用者にもダンボールを活用する等工夫をし、身体拘束をしないケアに積極的に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>H22、9月高齢者虐待防止の研修に職員が参加し、参加した職員がフィードバックしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>1月に成年後見制度についての勉強会を行い職員の意識向上に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者や家族に対して説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にてお話を聞く機会を持っている。</p>	<p>運営推進会議や年1回開催する家族会、家族の訪問時等に意見や要望を聴き、利用者のケアに反映させているが、家族からの意見や要望が少ない。</p>	<p>利用者一人ひとりの生活ぶりを季刊誌などで伝える等事業所から現況を発信し、家族とのキャッチボールを重ねながら信頼関係を深め、意見や要望をだせる環境づくりをし、出された意見・要望を運営に反映させていく事を期待する。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の会議を持ち意見を出してもらっているようにしている。	週1回開催するカンファレンスや月1回開催する全体会議において、各自意見や提案を出し合い、運営に反映させている。また、全職員に行ったサービス向上に向けたアンケート結果も運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回人事考課があり、面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	院内外研修の内容を掲示し、さまざまな研修を受ける機会の確保をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	小規模多機能交流会を輪番制で開催し意見交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回訪問において本人に聞き取りを行いアセスメントをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	初回訪問において家族に聞き取りを行いアセスメントをしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	通い利用の希望が多く、日中の見守りや入浴介助を希望している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	畑作業や野菜の収穫を通して一緒に楽しみを見出している。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	本人中心になることが多いが、家族の意見も聞きながら本人が安心して生活できるようにしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	主に利用者が子供の所に来た人が多く馴染みの関係を築いていく途中である。	利用者の行きつけの理髪店や美容院などに職員が同行する等、事業所として、利用者の馴染みの人や場との関係継続支援に積極的に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	記憶力の低下の人が同じ言葉を繰り返すが、ゲーム等を行い一緒に過ごせるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入所された人・サービスを必要としなくなった人に対して様子伺いの訪問をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントをすることにより本人の意向を把握するようにしている。	全職員が日常の会話を通じて、利用者の思いや要望の把握に努めている。家族との会話の中からも、利用者の要望を見出せるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	初回面談時にアセスメントを行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人、家族より聞き取りを行い把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	週1回カンファレンスを行い、本人にとって安心できる関係づくりを行う。介護計画に反映されていない。	ホームの運営母体が医療法人でもあり、介護と医療連携のチームケアに力を入れており、週1回のカンファレンスには本部の看護部長が同席している。3ヵ月毎に、利用者・家族・職員が話し合いを行い介護計画を見直している。今後は、カンファレンス結果も介護計画に反映させていくよう検討していく。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	サービス利用時の様子を個別記録に記入し、本人の様子の把握や介護実践に活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	急な泊まりなどニーズに対応し柔軟なサービス利用ができるようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域資源の把握は、十分できていない。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医と連携をとりながら普段と様子が違う時は家族に連絡し受診をしている。	通常の健康管理は2週間に1回かかりつけ医で定期受診をし、各利用者の状況に応じて対応している。また、家族と話し合い、希望により今までかかっていた主治医のもとへの通院支援も行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職員に排便の有無を伝え坐薬の挿入等対応してもらっている。入浴時皮膚状態を確認している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者のADL情報や生活暦等の情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	家族と話し合っているが、地域の関係者と共にはできていない。	このホームを開設して一年余り、現状では具体的事例はなく、何よりも家族の理解と協力、主治医の支援体制を基本として対処している。今後も職員体制と本人・家族等の要望を勘案し、関係医療機関と連携を図りながら実情に沿った支援に取り組む。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	急変時の搬送経路の確認を行い対応できるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	時々避難訓練を行いあわてず職員が避難誘導できるよう訓練をしている。	施設内での消防訓練を毎月実施し、避難方法を利用者と全職員で実践・確認している。利用者一人ひとりの身体状況に合わせた避難誘導方法も全職員で共有している。また、昼夜、同一建物内にあるグループホームとの協力体制も築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入浴時など利用者の方の希望（介護者の性別）に気がつかっている。	ホームの心得「居場所をつくり、笑いの中で生活しましょう」を職員全員が理解し、プライバシーや尊厳について意識統一を図り、行動されている。また、言葉かけなど改善が必要な場合には、職員に注意を喚起し指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	レクリエーション・作業など一人ひとりに合ったものなどを考えている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理に進めるのではなく、相手の話を聞きながらプログラム内容等を変更することもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴後の化粧など鏡の前でゆっくりしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	好みを聞き楽しんで食事ができるように音楽を流したりしている。	ホームの敷地内の畑で採れた野菜を食材にするなど、季節感を味わえる献立もあり、献立は固定化せず、冷蔵庫にある食材でメニューを考え調理している。気候のよい時期には花見弁当を作り外で食事をしたり、クラブ活動として利用者と職員と一緒に月見団子を作ったり、楽しんで食事が出来る工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	お茶の温度についても冷たいもの、温かいもの等習慣に応じて提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	通いの人には昼食後の歯磨きを行い、泊まりの人には、1日3回の口腔ケアを行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	排泄パターンを把握し、トイレに間に合わない状況を減らし、紙パンツの使用を減らしている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを職員全員で把握・共有し、トイレ誘導をし、紙パンツの使用を最小限としている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	野菜を多く摂取してもらうことで便秘にならないように気をつけている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	一人ひとり個別に入浴し、会話を楽しんでいる。また、排便の失敗時も入浴してもらっている。	安全で安楽な入浴介助をめざし、各人の要望や体調に応じて柔軟に対応している。中には、1時間職員と会話をしながらゆっくりと入浴される利用者もおり、ホームでは、入浴を単なる身体の清潔保持だけでなく、人間同士のふれあいの場と考え、コミュニケーションを図るようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>室温調整を行い、気持ちよく眠れるようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の説明書の確認を行い、服薬の支援を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者一人ひとりに合った作業やレクリエーションを提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>戸外の空気に触れるため屋外の散歩を行ったり、天気の良い日にはドライブに行ったりしている。</p>	<p>一人ひとりの希望にそった屋外の外出支援や、少人数でのドライブを月によっては何度も行なっている。また、季節によっては、家族や地域のボランティアと一緒に外出支援を行なっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>散髪時の支払いや利用料の支払い、菓子購入時の支払いを職員が一緒に行き見守っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人が希望すれば、電話できる体制を整えている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は季節感を採り入れた掲示物を飾っている。室温調整に注意している。</p>	<p>一年を通じて快適な室内環境を維持するために、常に湿度や温度に気をつけている。共用空間は利用者の作品等季節感を採り入れた物を掲示したりしている。また、ホームで迷い猫を飼っており、利用者や職員を和ませている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気のあった人同士など安心して過ごせるよう座席配置に注意している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>泊まりの利用が多い人にはなじみの部屋をつかってもらうように同じ部屋にしている。</p>	<p>泊まりの利用が多い利用者には、同じ部屋を利用してもらっている。また、本人や家族と相談し、家から使い慣れたものや好きな物の持込み支援もしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所の表示を大きくわかりやすくしたり見守りや声かけを行いながらできることを促がしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名：小規模多機能ホーム宮内温泉湯治の館ひまわり

作成日 平成 23 年 10 月 24 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念だけでなく、ホーム独自の理念を完成させる。	居場所を作り、笑って過ごしていただく	職員各自がどのようなホームにしたいかを考え、カンファレンスでまとめていく。	2ヶ月
2	10	本人・家族の希望を職員全員が周知し現状に即した介護計画を作成する。	常に現状に即した介護計画を作成する。	通い、訪問、送迎などの機会に本人や家族に話しかけ情報収集を行う。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加人数を増やし、意見や要望を運営に反映していく。	参加人数を増やし活発な討議と情報交換をしサービス向上に生かしていく。	通い、訪問、送迎などの機会に本人や家族また地域住民の方に季刊誌などを発送したりして働きかけていく。	12ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。